

科目名	国語演習	単位数	2	必修選択	選択
教科書	なし				
副教材	国語問題集(講座ごとに購入)				

教科・科目の内容

- ・大学入試に対応できる国語力を身に付けるための問題演習を行う。
- ・共通テスト及び私大の入試対策として、問題演習を中心に扱う。
- ・現代文または古典の問題に取り組む中で、問題を読む力と解く力を身に付ける。

日常生活や将来とのつながり

共通テストや大学入試の国語において求められるものは、読解力や語彙力にとどまらず、論理を把握したり不明な箇所を類推したりする力など広範にわたる。そうした能力は決して入試問題を解くためだけに役立つものではない。論理は世界共通の思考の法則であり、これからの時代をよりよく生きるために必要な知である。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

- ・漢字や語彙など基本的な知識を増やし、予習と復習を適切に行う。
- ・必ず根拠を持って問題に解答する。
- ・決められた時間で問題をとけるようにする。
- ・間違えた問題に関して、なぜ間違えたのかきちんと理解する。

到達目標

「国語総合」、「現代文 B」、「古典 B」の学習について、既習事項を確認し活用するために問題の演習を行い、既習事項の理解を深め、習得した知識及び技能の活用力を高める。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(行動観察・問題集点検)

国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

② 読む能力(定期テスト・問題集点検)

文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。

③ 知識・理解(定期テスト・小テスト)

伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名	副教材名
3年	国語演習	2	なし	国語問題集(講座ごと購入)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点		
			思	読	知
一学期	実践問題演習 語彙に関する小テスト	[現代文] (読むための演習) - 本文の構造を理解し、展開を押さえながら読む訓練をする。 - 頻出テーマについての理解を深める。 - 語彙を増やす。 [古典] (読むための演習) - 人物関係を押さえながら読む訓練をする。 - 古典常識についての理解を深める。 - 語彙を増やす。	○	○	○
	※ 期末試験・問題集点検		○	○	○
二学期	実践問題演習 語彙に関する小テスト	[現代文] (解くための演習) - 本文から根拠を探す訓練を通し、直感に頼らない解法を学ぶ。 - 客観問題の選択肢の選び方についても理解する。 - 語彙を増やす。 [古典] (解くための演習) - 文法(句法)問題の演習を行い、頻出問題の解法を学ぶ。 - 根拠をもって解答できる力を身に付ける。 - 語彙を増やす。	○	○	○
	※ 期末試験・問題集点検		○	○	○
三学期	実践問題演習 語彙に関する小テスト	これまで身に付けた解法の確認を行う。	○	○	○
	※ 学年末試験・問題集点検		○	○	○

備考	副教材は講座ごとに追って購入する予定。
----	---------------------